



Tanabe East Rotary Club in 2018-19

2018-19年度RI会長：ハリー・ラン

第2640地区ガバナー：樫畑 直尚

田辺東ロータリークラブ

創立：昭和49年5月15日

会長：武田 静也

幹事：野村 憲司



インスピレーションになるう

例会場/事務所：田辺市下屋敷町81-10

きのくに信用金庫田辺支店3F

Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008

http://tanabe-east-rc.com/

E-mail info@tanabe-east-rc.com

例会：毎週水曜日 12:30～

ビジターフィー ¥2,000

○会長報告 会長 武田 静也



■本日のお客様は、ノンフィクション作家の佐山 和夫（さやま かずお）様と、お嬢様の清水 朋子（しみず ともこ）様です。後ほど宜しくお願い致します。

■本日の例会終了後、定例理事会を開催致します。理事・役員の方はお残りください。

■5月7日(火) 田辺はまゆうRCの例会に於いて、地区IT委員として岡本 博君に卓話をして頂きました。ご苦労様でした。

■5月11日(土) けやきONE401に於いて「ガバナー補佐・幹事予定者合同会議」が開催されます。次期ガバナー補佐として、私 武田が出席して参ります。

■来週5月15日(水) 午後3時～ 創立45周年記念例会を行ないます。会場は通常通り、こちらです。多数の会員の出席をよろしくお祈いします。

○幹事報告 幹事 野村 憲司



■例会日時変更

◎高野山RC

5月17日(金) → 5月13日(月)

<親睦家族例会(伊勢方面)に変更>

■メイクアップ

◎5月7日(火) 田辺はまゆうRC (地区IT委員)

岡本 博

■回覧

◎週報「那智勝浦RC」「粉河RC」「橋本RC」

◎和歌山県福祉保健部長より

「平成31年度『ダメ。ゼッタイ。』普及運動に対する後援と御協力について(依頼)」

◎西牟婁振興局健康福祉部 田辺保健所衛生環境課より
「平成31年度 薬物乱用防止指導員講習会の開催について 日時：5月16日(木)14時～」

◎田辺市役所環境課より

「令和元年『田辺湾クリーン作戦!』実施について (お願い) 日程：6月8日(土)」

◎樫畑ガバナー事務所より

「ガバナー月信 第11号」

◎久保PDGより

「RI2640地区の不名誉な真実(5)」

◎久保田 信様より

「講演会『ピースボート3ヶ月航海記』のご案内 5月8日(水)18時よりホテルシーモア」

■連絡

◎次週5月15日(水)は午後3時～創立45周年記念例会です。通常通り、こちらの例会場(きのくに信金3F)です。ご出席よろしくお祈いいたします。

◎5月のロータリーレートは1ドル=112円です。

◎「ロータリーの友 5月号」が届いています。

各自トレーにいらしています。

○ゲスト・ビジター

ノンフィクション作家

佐山 和夫 (さやま かずお) 様

清水 朋子 (しみず ともこ) 様



○本日の唱歌

「君が代 奉仕の理想」

唱歌委員 玉置佳範 君



○出席報告

会員数43名 義務免除 7名 本日の欠席者 7名
本日出席率 80.56% 4月17日の修正出席率 92.81%

○にこにこ報告 (敬称略)

◇ノンフィクション作家 佐山和夫様
本日はよろしくお祈りします。

◇ノンフィクション作家 佐山和夫様と、清水朋子様
(助手：佐山氏令嬢)をお迎えして
愛須勝章、上原俊宏、岡本博、後藤信博、
片井貢、坂本正人、佐田一三、武田静也、
竹村英一、谷中順次郎、西谷貞彦、畑地誠、
本田耕二、野中信広、森本修至、山本亘、
早稲田清司、渡口眞二

◇9人目の孫が生まれました。 畑地誠
◇◇無沙汰しておりました元気です。またよろしく
お祈りします。 那須壽子

◇結婚記念日 阪本邦夫
木村壽一 私達が結婚したのは大阪万博 (1970)
が開かれた年でした。もうすぐ50年を迎えます。
小旅行に行こうと今からどこにと楽しみにしてい
ます。

坂本正人 5月8日本日とその結婚記念日です。38年
前に闘鶏神社にて式を挙げました。今日のように
快晴でした。古き良き思い出です。

竹中 悟 6月に5人目の孫が生まれます。ありがと
うございます。

玉置佳範 おかげさまで結婚10年になりました。

◇本人誕生日 丸山博之
泉房次郎 人生100年時代、まだまだ先がある、仕事、
遊び、多忙な85歳です。

玉置佳範 5月17日42才になります。

◇本人誕生日&奥様誕生日
野村憲司 特に何もありませんが、令和元年5月3日
本人49才になりました。5月23日 妻42才になりま
す。

◇奥様誕生日 中嶋伸和、畑地誠
小山 實 誕生日おめでとう。僕の面倒を見るのは
今からでっせ。よろしくお祈りします。
谷中順次郎 いつもありがとう！この月末にする白
内障の手術、うまくいきますように！

☆皆様たくさんのニコニコありがとうございました。

○本日のプログラム

ノンフィクション作家
佐山和夫様
清水朋子様 (佐山氏令嬢)



◎業績及び経歴

和歌山県立田辺高校より慶応義塾大学文学部英文学科
に進み、大学を卒業後、会社員や高校教師の職を経て、
「田辺イングリッシュ・アカデミー」を設立し、学校
運営の傍らで、執筆活動を始める。

昭和59年に、大リーグの外にあったニグロ・リーグ
の大投手を描いたノンフィクション作品『史上最高の
投手はだれか』を発表。平成7年には、ジョセフ・アス
トマン賞を日本人として初受賞。平成10年には、ニグ
ロ・リーグについての著作と翻訳に関して、アメリカ
野球学会のトウィード・ウェブ賞を受賞、さらに平成
19年には、『20世紀最高のスポーツマンはだれか』
の著作により、ペンシルバニア州ジム・ソープ氏の名

誉市民号を授与されるなど、国内のみならず米国でも
功績が高く評価される。

また、野球事業に精通した氏は、(公財)日本高等
学校野球連盟顧問も務めており、野球界の発展にも大
きく貢献している。

スポーツを題材にしたものが多数を占める氏の作品
の中で異彩を放つのが、18世紀末に申本町に來航した
アメリカ船レディ・ワシントン号の史実を描いた
『わが名はケンドリック』である。作品発表後も氏は
日米双方で関連する資料の収集調査を続け、平成27年
には、より詳細に記した『ペリーより62年も前に』を
発表した。氏は「日米交流の原点を知ってほしい」と、
この史実の探求をライフワークとし、現在も精力的に
活動を続けている。

さらに、平成27年発表の『金栗四三-消えたオリンピッ
ク走者』は、2019年のNHK大河ドラマ「いだてん」
のきっかけとなるなど、氏の作品は各所に影響を与え
ておりその功績は多大である。

四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか

◎現在

- ・ノンフィクション作家
- ・アメリカ野球学会会員
- ・公益財団法人日本高等学校野球連盟顧問
- ・選抜高等学校野球大会21世紀枠特別選考委員
- ・阪神甲子園球場歴史館顧問
- ・NPBゴールデンスピリット賞選考委員

※平成30年度和歌山県文化功労賞 受賞

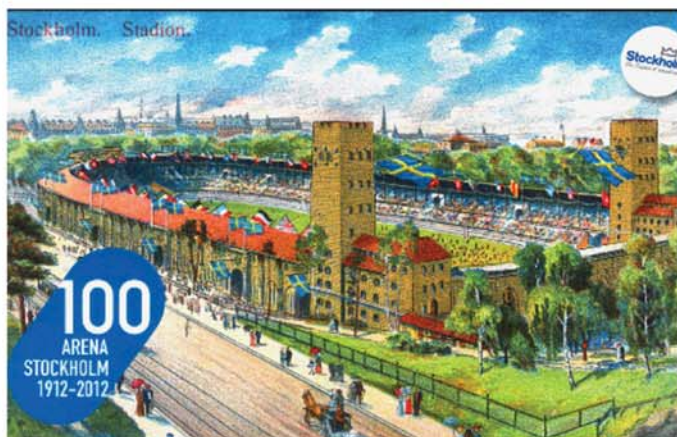
「クーベルタンは、なぜ
日本をオリンピックに誘ったのか」

2020年の東京オリンピックも近づいてきた。

日本にとっては、二度目の開催だが、もともと日本とオリンピックとの関係は深い。最初の参加が明治時代だったというのだから、驚くではないか。

まだ体育協会もなく、選手を送り出す組織もないのに、なぜ誘われたのか。そもそも、日本に世界レベルの選手がどれほどいるのかさえ、誰もわかっていなかった。何しろ、国際的な大会などには、誰も出たことがなかったのだから当然だ。

そんな日本に、なぜ、フランス男爵クーベルタンは声をかけてきたのか。



100-ÅRSJUBILÉET AV STADION OCH OS I STOCKHOLM 1912
STOCKHOLM OLYMPIC STADIUM AND OLYMPIC SUMMER GAMES CENTENARY



その答えを知るには、まずは彼がどうして近代オリンピックなどというものを思いついたのかを見る以外にない。

フランス革命によって、自分たち貴族階級がやがて滅びる運命にあること悟った彼は、名誉ある没落のために、何か公的なことで名を残したいと考えたのだそう。たどり着いた答えが、「平和の祭典」と呼ばれた古代オリンピックを近代において再現させるというものだった。



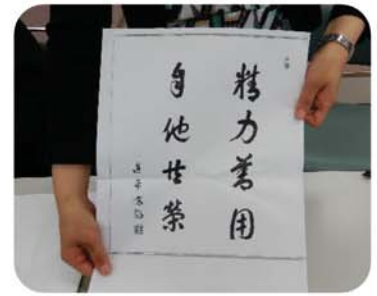
当時のヨーロッパの列強国ときたら、いずれもが植民地獲得にやっきになっていた。自国主義に懲り固まっていたのだ。その呪縛から彼らを解放するためにも、平和と協調の精神を吹き込みたいと思ったのだ。それが思い通りにできていれば苦労はなかった。苦心の末に始めた大会だが、回を重ねるほどに、期待とは逆の方向に奔走していくのに、クーベルタンは絶望していく。その落胆の果てに、彼が思いついたこと――、それこそが日本への勧誘だった。



間違った方向に進むオリンピックに、それをただし、新たな指針を示せるのは、日本しかないと彼は考えたのだろう。日本には、嘉納治五郎という傑物がいることをクーベルタンは知っていたのである。

1912年、ストックホルム大会に出場した日本選手は只の2名。マラソンの金栗も、短距離の三島もいい結果は残せなかった。しかし、これを機にクーベルタンと嘉納の親交は深まった。嘉納の持つ深い思想に、クーベルタンにますます惹かれていったのであった。そして第12回の大会を日本で開催して欲しいと熱望するまでになった。

2020年の東京大会が、クーベルタンの期待と嘉納の理想に沿った高い精神性を持った大会になることを望みたい。振り返ってみれば、昨今の世界に見られる自国第一主義の氾濫。それは、クーベルタンが近代オリンピックを思いついたころの姿と、あまりにもよく似てはいないか。



金栗さん救った家族の子孫に記念プレート
日本五輪初参加の
ストックホルムで
マラソン途中棄権

日本五輪初参加のストックホルム大会でマラソン途中棄権した金栗重三氏の功績を後世に伝えるため、子孫に記念プレートが贈られた。プレートには「1912年ストックホルム大会マラソン途中棄権 金栗重三氏」の文字が刻まれている。授けられたのは、金栗氏の孫である金栗重三氏の子孫である。授けられたのは、金栗氏の孫である金栗重三氏の子孫である。

授けられたのは、金栗氏の孫である金栗重三氏の子孫である。授けられたのは、金栗氏の孫である金栗重三氏の子孫である。



残念ながら、この大会は日本の辞退となって消えたが、結局は二度も大会を引き受けることになる。

○編集後記 ひしのみ 5-8

晩年の子規は病気（結核）の為、病床に伏せることが多かったという。そんな彼が就床中に仰ぎ見た台盤に挿す藤の花が、今を盛りと咲く万朶の藤の花が、あと少しで畳に着くという歌を詠んだ。34歳という若さで生涯を閉じる彼の晩年のこの歌は、やり残した事の大きさに、もう少しで畳に着く藤並みの時間があればなあ、と云う歌であろう。

瓶にさす 藤の花ぶさ みじかければ たたみの上に とどかざりけり 子規
 明日をも知れぬ子規ならぬ身の田辺東ロータリークラブの会員の方々には、まだまだ中嶋年度までに時間がある。しっかりと奉仕の精神を発揮しようではないか。



四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか